

### 《利尻南稜～6日間食いつないだ初めての経験～》

遠征メンバーでのプレ山行、そして今シーズン冬山の集大成として利尻南稜へ。年末年始に八海山やった鈴さん、桑ちゃん、ハガりに、出産帰りのおハルがいよいよ合流（笑）バットレスを中心とした登攀もしっかりあるので、いかに軽量化できるか、ということの主眼に置き作戦を練って準備した。

極力食料を持たずに入山するため、3泊4日の6食とガスを持参するも、1日の停滞と、最終日時間切れで下山を延長したため5泊6日となった。振り返ってみるとよく食いつないだものだ。色々持っていきたくなるのをこらえて、限られた装備で何とかする、それをよく考えた山行だった。登攀も、体力も、経験も、お互い得意な部分を引き出して総合力としてこのメンバーで山にいと、心強さをすごく感じる。いく時は行くし、休む時はとことん楽しさせてもらったな（笑）

\*\*\*\*\*

#### 【4/2 DAY1 鬼脇～南稜 1,220m 付近（晴れ、3/15°C、南 8m/s）】

稚内から朝一のフェリーに乗り利尻島に上陸すると、天気最高！利尻北稜がよく見え、テンション上がる。タクシーの運ちゃんに利尻山バックに写真を撮ってもらいジャンボタクシーに乗り込んだ。「鬼脇の除雪終了点できるところまで入って欲しい」とお願いしたのだが、降ろされたのは小学校の隣、「もっと行ってあげたいのはやまやまなんだけど、GW までは除雪が入らないのよ」とのこと。そこまで期待はしていなかったが、まさか海がすぐそこ（苦笑）まあ、しゃーない、運ちゃんに見送られ出発した。

しばらく行くとヤムナイ沢に出合う。この沢は広くて雪も安定して歩きやすかったので、忠実に沢沿いを歩き、標高 450m 付近から急登を少しのラッセルで P740 経由し南稜に乗った。何度か休憩を挟みながら目標としていた 1,220m には 15 時半ごろ到着。順調に来たのもう少し進めたが、広く快適なテン場だったので今日はここまでとする。

いや～、それにしてもいい天気だ。眼下に海が広がるオープンバーン、ここを滑ったら最高だろうなあ、と妄想が膨らんだ。



ヤムナイ沢は広くて歩きやすい



標高 450 から P740 を目指す。今年は雪多く藪漕ぎなし



1220m南稜を目指して。滑りたくなる気持ちいい斜面～！



1220m 付近初日 & 2日目のテン場。目の前が大槍

### 【4/3 DAY2 沈殿（曇り/雪視界なし、東 15m/s）】

天気悪化、メンバー体調不良もあり、今日は一日沈殿とする。

4人テントだと張れる場所が限られる分、下手に動けないのは難しい点。（装備としてテントは2人×2と迷ったが、全員が一緒に行動&生活できる点、軽量化の面で4人テンでよかったと思う）

### 【4/4 DAY3 1,220m～大槍手前（雪のち曇り時々晴れ、-7/3℃、北北東 16m/s）】

朝の雪&強風からの回復を待ち、短時間行動で核心部手前までと決め10時前に出発。

#### ★ロープ箇所

- ①出発すぐ、最低コル懸垂点までの細いリッジ
- ②最低コルまで懸垂 25m
- ③コル～雪庇 25m（桑）
- ④雪稜直登を試みるも悪雪に阻まれる（鈴）  
仕切り直し、ややクライムダウンしてからの左巻きでコンテ 60m（葉）



最低コルへの懸垂



雪稜直登は悪雪で断念



クライムダウンして左から巻く



左巻きコンテで。雪は腐っているのでリードは辛抱、



先人のテン場を発見。有難く使わせていただく

**【4/5 DAY4 大槍前衛峰～バットレス基部手前（晴れ、-6/7℃、北西～西 10m/s）】**

昨日のうちに鈴さん&ハガリで下見した大槍前衛峰を右から巻く。ルート全体を通しての核心部はバットレスだけど、今日の大槍、P2、P1 も昨日までとは違って登攀要素が強いので心してかかる。この日のハイライトは2か所。P2からの懸垂ライン見極めと、P1の泥モロ壁の登攀の恐怖。

★ロープ箇所

①大槍前衛峰の巻き

- 1P 昨日鈴さん&ハガリで下見した通り右巻きで灌木まで（鈴）
- 2P 大槍基部までルンゼ～リッジに乗る、グサ雪に苦戦（葉）

②大槍巻き

- 1P 大槍を左から巻く（鈴）
- 2P P2とのコルまでコンテ。コルは広く休憩可、仙法志稜のJCT（葉）

③P2グサ雪で登りにくい（桑）

④P2からの懸垂

はっきり言ってめちゃくちゃ大変だった。最初稜よりもヤムナイ沢側に振ってしまい、登り返しに奮闘、、、仕切り直して、とにかく稜に忠実に慎重に下りた。なんと 50mギリ 1 回で懸垂完了。できると思っていなかったのでびっくり！（桑→葉）

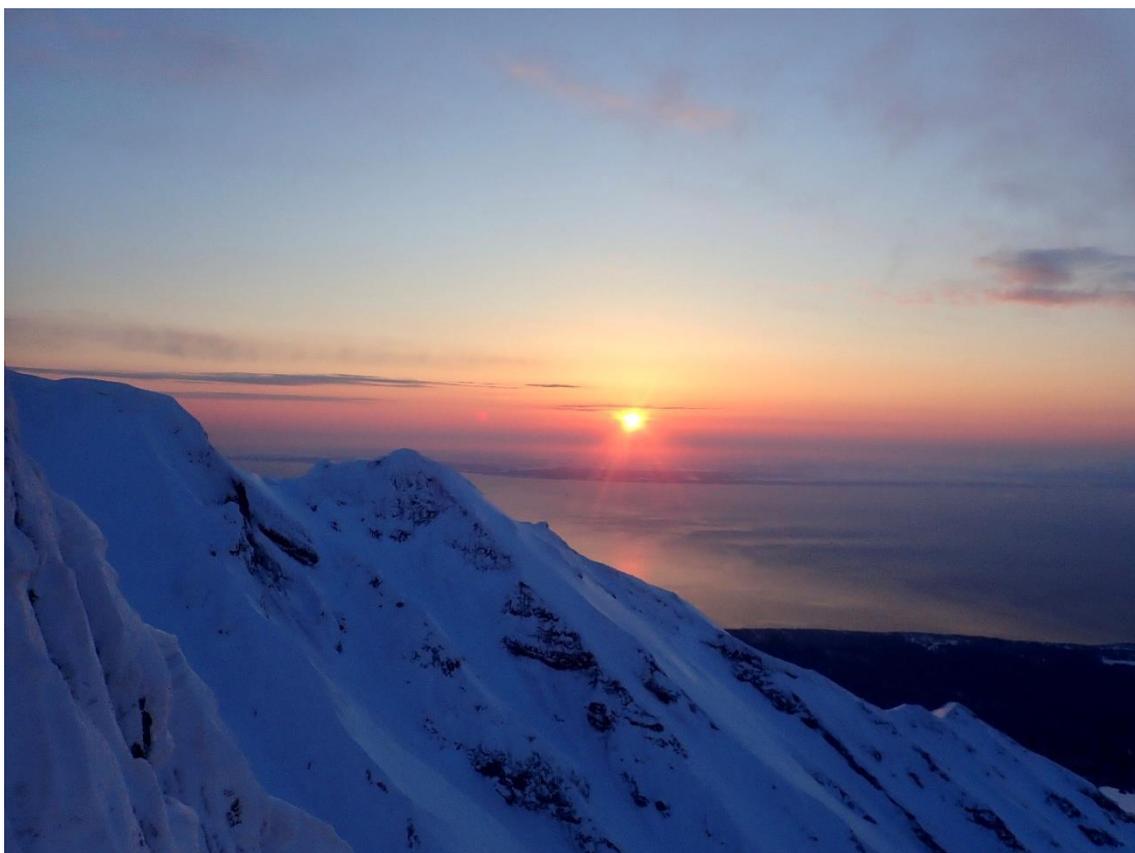
⑤P1 を巻く

1 P 傾斜の緩い雪面を直上 20m（鈴）

2 P こっから先が見通せず一回右巻きから行くが悪く、戻って左へトラバースして傾斜立ったルンゼへ。泥壁に悪態付きながら登る（葉）

3 P そのままさらに立ったルンゼ上。脆いドライ。中間支点はプア、、、リードする鈴さんを 3 人で固唾をのんで見守る。ナイスリード！！（鈴）

この悪い脆壁登るとバットレスが現れた。バットレス基部のコルよりもピッチ終了点の方に整地の可能性を見出し 4 人で全力整地開始。すると予報に反して吹雪になり、バットレスは見えなくなってしまった。余力があれば明日のために FIX したいところだったが、整地も大変だったりなんだりで断念、、、瞬く間にギアが凍り付いていくので体が冷える前に、とテントに逃げ込んだ。



朝焼けとともに出発、天気良さそうだ～



大槍前衛峰右ルンゼから。写真のリッジに乗る箇所、雪が悪くて苦労した

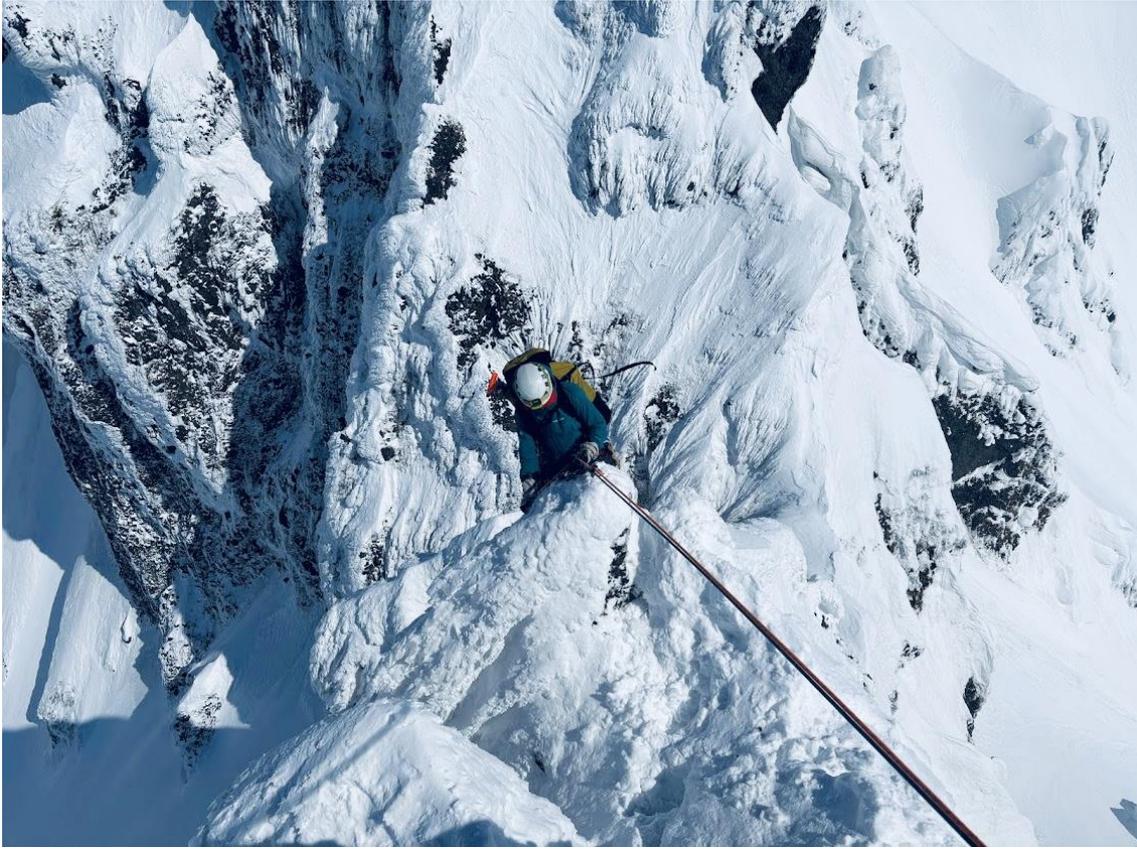


P2への登り。仙法志とのJCTであるこの場所は広くてテントも張れそう



P2 ピーク懸垂の図その1

トップバッターは緊張感マックス。ルートが逸れこの後魂の登り返しすることに、、



P2 ピーク懸垂の図その2

仕切り直して。リッジから逸れないように集中



P2 ピーク懸垂の図その3



P2 ピーク懸垂の図その4

この距離を 50m 1 ピッチで降りられるとはびっくり



P1 巻きはルーファイ迷った。左トラバースして泥壁のルンゼに入る



P13P 目。泥壁の次は脆いミックス、、



4人テント張るため全力で整地中の図（笑）天候が崩れてきた、、

#### 【4/6 DAY5 バットレス～長官小屋（雪のち晴れ、-7/4℃、南7m/s）】

今日は朝一にバットレス、と思うとすごいプレッシャー。「まあ、私ダメなら強いメンバー控えてるし！」と冗談めかしながら朝食。笑

外はホワイトアウトで壁は見えない。これでは話にならないので、好天を信じ6時半まで待って出発。1P 目取付きまではすぐなのでダラダラ支点を作りながら再び待機するも一向に視界回復せず。これ以上待っても後ろが押す、、しびれを切らせて1P 目に取付いた。

#### ★ロープ箇所

##### ① バットレス1P 目（葉）

核心ピッチ。10m ほど雪のスロープを直上しテラスに立つ。テラスから上は被っていて可能性感じず、右にトラバースしていくが視界なく登攀ラインが見通せない、、ここならなんとか登れそうか？というラインで上を見上げると、なんとなく目指す凹角が見えた？気がして覚悟を決めて直上開始。数メートル上がったところにちょっとしたバンド状、一息つく。こっからの直上は垂壁で悪そう、、しばらく踏ん切りつかずにいたが、結局行くしかない。ぶち込んだイボにスリングをタイオフ、右壁の細いクラックにバイルの先っぼ

でトルキングして体を引き上げる。右足はアイゼンの爪一本でなんとか立っている、心臓バクバク。「あー、、落ち着け！」と言い聞かせて上のブッシュにスリングをかけた。テープ鏡を持参していたのでここに掛けて上の凹角に這いあがった。ここからは凹角のアイスパート。背中を押しあててワイド登りができるので少し休めたかな。凹角アイスから出ると傾斜は緩むけどボロ岩。さすがにバイル決める気にはならずグローブで岩をつかんだり抑えたりしながらじわじわ進むと右に狭いバンド状、ロープもいっぱい近くピッチを切った。(ギアはイボ、ハーケン、スモールナッツ、トライカム、短スクリューが使えた。ピッチ切れる場所がそうないのでスリングが玉切れして最後はハラハラだった。残置は雪の中か、、見つからず)

#### バットレス2P目(桑)

直上かと思っていたら、残置ハーケンを見つけバンドを左にトラバースしてハイ松のリッジに乗る。ここからは傾斜が緩みハイ松テラスまで。

#### バットレス3～5P目(桑)

桑ちゃんリードオンパレードでグイグイ引っ張る！！強い、早い！！3人圧倒される。それと鈴さん発案で、先に着いた二人でロープを伸ばす方法を採用、これがとても効率よかった。

#### ②南峰の巻き

バットレス肩に着くと目の前に南峰。一息ついてから2人一組で南峰を右巻きでコンテ。本峰コルまではすぐ。

#### ③本峰直登(鈴)

本日最後のピッチは夕闇迫る中の登攀だった。ここ、実際目の前にすると一か所岩も出ているし、不安定な雪が乗って悪そう。鈴さんが粘り強い登りでロープを伸ばして40m1Pで本峰ピークへ。

4 人目の私が登り出すころには真っ暗になり、無事本峰ピークに全員集合、ロープをしまう。少しの歩きで北峰ピーク、長官小屋までの下りは真っ暗ながらも危惧していた強風を受けずに済んだので平和に下ることができた。

避難小屋にテントを張り、全員残った行動食で夕食をとる。質素な中でも鈴さん考案の「柿汁」(柿ピー梅シソ味にお湯を注いだもの)が大ヒット！サクサクの柿ピーが良い出汁で美味(汁物ない時はぜひやってみて笑)



バットレス 1P 目

一向に視界回復せずしびれを切らせて出発。10m ほど雪のスロープ上がったバンド



バットレス 1P 目

やっと晴れた！核心を超えてアイスパート登る私



バットレス 1P 目

セカンドが出発。このピッチ 45m ほど。ハイ松テラスまで行くには最初のバンドまで上がる必要あったか？



バットレス1P 目

核心をユマールするセカンド桑ちゃん。予想してたけどルート屈曲するため荷上げも大変



バットレス2P 目を登る桑ちゃん  
バンドを左へトラバースしてハイ松のリッジを目指す



ハイ松テラス上の S 字ルンゼをフォローするおハル。このロケーション！



南峰をコンテで巻く鈴&桑パーティをバックにパシャリ



南峰本峰コルでゴールデンタイムを迎える



本峰を登る鈴さん。最後まで気が抜けない



北峰ピー写（ピーク感ゼロの写真だけどw）。安全圏まで来たよ～



あとは長官小屋目指して下るのみ

**【4/7 DAY6 長官小屋～鴛泊へ下山（小雪のち晴れ、南 9m/s）】**

午前中は雨予報だったため、朝のフェリーは諦め10時ゆっくり下山開始。歩き始めこそ小雪でコンパス振りながら歩いたが次第に晴れ渡り気持ちいい歩きとなった。

利尻は風と雪の厳しいイメージだったけど、今回停滞を除き概ね晴れて風向きのお陰で耐風に苦勞することはなかった。天気がよく見方してくれたことに感謝の気持ちでいっぱいだ。笑

**\*\*行程\*\***

2025 年 4 月 2 日～7 日

**DAY1**

9:30 鬼脇

15:30 1,220m 付近テン場

**DAY2**

停滞

**DAY3**

9:45 出発

13:50 大槍手前テン場

**DAY4**

5:10 出発

8:40 P2 懸垂開始

11:30 P2 懸垂完了

12:30 P1 2ピッチ目発

14:00 P1 3ピッチ目発

16:00 バットレス基部手前テン場

**DAY5**

5:50 出発

6:45 バットレス1ピッチ目発

11:50 バットレス2ピッチ目発

13:50 バットレス3ピッチ目発

17:00 バットレス肩

19:30 北峰ピーク

20:00 長官小屋

**DAY6**

10:00 出発

12:00 北麓野営場

13:15 駕泊フェリーターミナル

※天気&気温：行動時のもの、風速：前日時点の山頂最大瞬間風速を参考程度に記載

